



2022年8月8日

各 位

会 社 名 天馬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 廣野 裕彦  
(コード：7958、東証プライム)  
問合せ先 経営企画部長 鈴木 直人  
(TEL. 03-3598-5642)

## 業務提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、JEJ アステージ株式会社（以下、「JEJ アステージ」という）と、企業価値向上を目的とした包括的な業務提携に向けた検討を開始する合意書（以下「本合意書」という。）の締結につき決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 本合意書の目的と内容

当社は、樹脂成形メーカーのリーディングカンパニーとして、環境に配慮した樹脂の製品化や樹脂リサイクル事業の推進等、環境問題への取り組みを進めておりますが、この問題は当社1社のみに限るものではなく、樹脂成形業界全体の課題と認識しております。そのような折、同じく樹脂成形を主業とする JEJ アステージと課題認識が一致していることが明らかとなり、環境配慮商品等に関する研究開発を共同で進めることが両社にとっての利益になるとの合意に至りました。

また、環境問題以外にも、我々樹脂成形メーカーが直面している課題に、原材料の高騰や電力費の上昇等による原価率の上昇があります。当社の国内主力事業であるハウスウエア事業のお客様には、昨年来、価格改定の申し入れをさせて頂きご理解を賜っている中であって、より一層の原価低減努力を続けることはメーカーとしての当社の責務であると強く認識しております。JEJ アステージと当社は、それぞれ国内に複数の製造拠点を有しておりますが、その立地は必ずしも重複しておらず、お互いの生産能力の一部を相互利用することにより、より消費地に近い地域での生産が可能となり、両社の原価低減に繋がると判断しております。

加えて、当社が強みを持つ中国における販路と、JEJ アステージが実績を有するアメリカにおける販路を相互活用するなど、両社の協業によるシナジー効果は多岐にわたります。

これらを総合的に判断し、研究開発・製造等の協業体制を結ぶことを目的とした包括的業務提携についての検討を進めることとしました。業務提携の詳細については、今後、両社の実務レベルでの検討において具体的内容を確定させてまいります。

## 2. 本合意書締結先の概要

(1) 名称	JEJ アステージ株式会社		
(2) 所在地	新潟県三条市西本成寺 2-28-12		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 原 祐一		
(4) 事業内容	プラスチック製品の企画・製造及び販売		
(5) 資本金	50,000,000 円		
(6) 設立年月日	1990 年 5 月		
(7) 決算期	4 月		
(8) 大株主の状況 持ち株比率 (2022 年 4 月 30 日現在)	株式会社喜右衛門	34.70%	
	原 祐一	32.90%	
	原 広美	16.90%	
(9) 当事会社間の関係	資本関係 該当事項はございません。 人的関係 該当事項はございません。 取引関係 当社は JEJ アステージに対して、一部製品の製造委託を行なっております。 関連当事者への該当状況 該当事項はございません。		
(10) 当該会社の最近 3 年間の財政状態及び経営成績			
決算期	2020 年 4 月期	2021 年 4 月期	2022 年 4 月期
純資産	1,249,090 千円	3,102,786 千円	3,166,316 千円
総資産	8,290,147 千円	14,047,357 千円	14,696,925 千円
1 株当たり純資産	2,368.99 円	5,884.65 円	6,005.13 円
売上高	9,855,942 千円	14,298,133 千円	12,742,875 千円
営業利益	577,668 千円	1,347,788 千円	396,206 千円
経常利益	557,729 千円	1,360,649 千円	418,878 千円
当期純利益	369,742 千円	1,858,376 千円	250,655 千円
1 株当たり当期純利益	701.24 円	3,524.54 円	475.38 円

## 3. 日程

契約締結日 2022 年 8 月 8 日

## 4. 今後の見通し

本件による影響は、2022 年 5 月 12 日公表の 2023 年 3 月期業績予想のレンジ内におさまるものと判断していますが、今後の動向を踏まえ業績予想の修正が必要となる場合には速やかに開示します。

以上